

博物館実習 受講の流れ（詳細）

時期	項目		内容
3月	応募申請	本人→美術館	富山県美術館 HP 内の申込フォームに必要事項を入力し、 <u>志望動機を説明する小論文</u> (詳細は下記)のデータをアップロードして申請。 申請期限:令和6(2024)年3月31日(日)
4月末頃	受入れ可否の連絡	美術館→本人	受け入れの可否をメールにて連絡します。 ※応募者多数の場合は書類選考を行います。 ※受入れの内諾であり、受講はまだ決定していません。 ※これ以降に受講できなくなった場合は、辞退する旨を速やかに連絡してください。

↓ 受け入れ可能(内諾)である場合

5月頃	所属大学からの依頼	大学→美術館	所属大学から、依頼文を書面で提出してください。 提出期限は、5月末日(予定)です。
6月頃	受入承諾書の送付	美術館→大学	美術館より所属大学に、博物館実習受入承諾を、書面にて通知します。※これをもって受講が決定します。
7月頃	実習前の連絡	美術館→本人及び大学	実習日程などの連絡事項をお伝えします。
	必要書類の提出	大学→美術館	対物・対人保険加入証明書、宣誓書等を、所属大学から提出してください。
8月	実習	本人	富山県美術館にて博物館実習に参加。
10月頃	成績報告書の送付	美術館→大学	

【志望動機を説明する小論文について】

- ・A4 縦に横書きで、1200 字程度。大学・学科名、学年、氏名を明記してください。
- ・Word または PDF 形式のファイルとし、申込フォームからアップロードしてください。
※アップロードできるファイルの数は、1つのみです。
※ファイル名は、氏名を入れて、右「」内のようにしてください。「志望動機_(ハイフン)氏名」
例) 志望動機_山田太郎
- ・内容は、次の点がよく分かるよう記載してください。
 - (ア)なぜ富山県美術館で実習を希望するのか。理由を具体的に述べること。
例)・展覧会の内容がどのようにして決まるのか、詳しく知りたい。
・20 世紀美術や現代美術の〇〇の部分、より深く知りたい。
 - (イ)実習を通して何を学びたいか、実習に何を求めるか。
例)・展覧会の企画運営、コレクション形成について〇〇の観点から学びたい。
・教育普及活動に関して、特に〇〇について学びたい。
 - (ウ)実習で学んだことを、今後どのように活かしたいか。
例)・学芸員やエドューケーターになりたいので〇〇について知見を広めたい。
・アーティストとして活動したいので、実習を通して美術館の〇〇の機能を学びたい。
- ※(ア)は、必ず記載して下さい。
- ※自分の言葉で、自分の考えが明確に伝わるよう、文章にしてください。
- ・題名は自由に設定して下さい。例)「富山県美術館で博物館実習を受講する理由」等